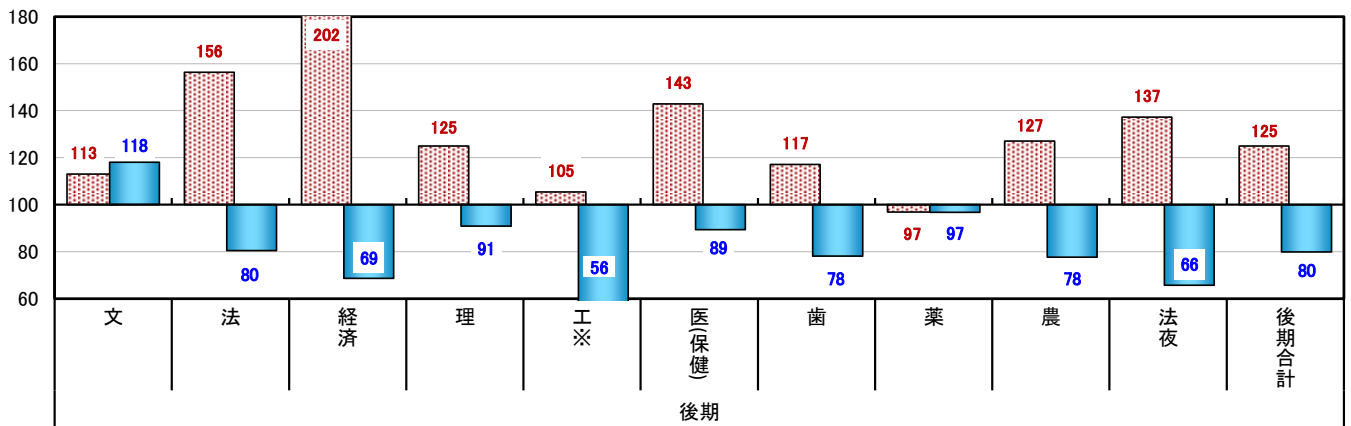
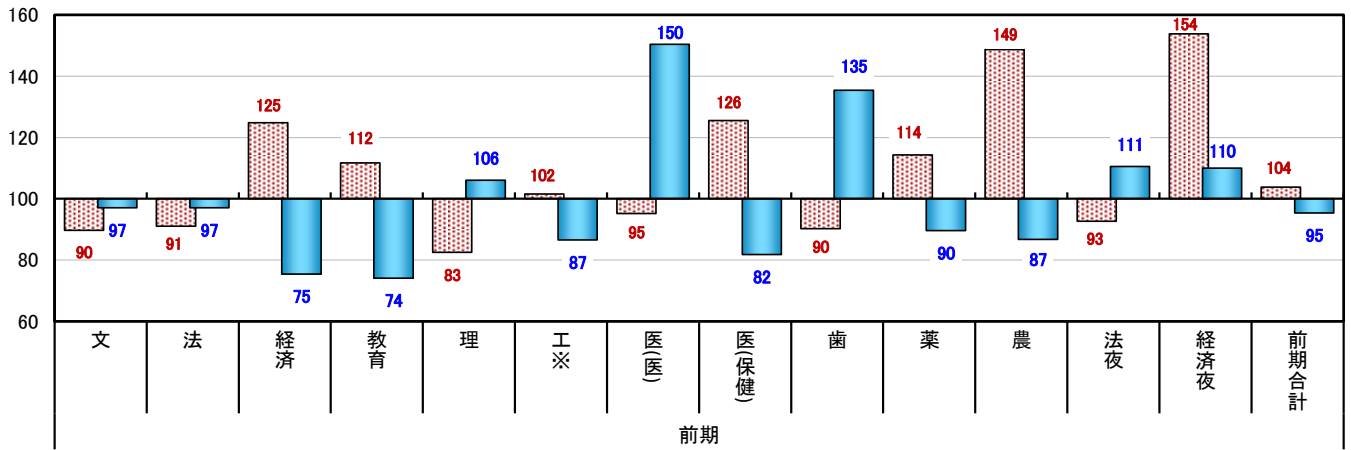


岡山大：前期はやや減少、後期は前年度の反動で大幅減少 前期：-161人 後期：-341人

※前年度の志願者数を100とする指数

■2021年度/2020年度 ■2022年度/2021年度



※2021年度 新「工」は、2020年度 旧「工」+旧「環境理工」と比較

主な入試変更点

募集人員：文…<後>29人→27人
 法…<後>35人→32人
 経済…<後>24人→21人
 教育(学校教育教員養成/小学校教育)…<前>91人→88人
 理(数学)…<前>16人→17人、<後>3人→2人、(物理)…<前>27人→29人
 (化学)…<後>3人→2人、(生物)…<前>24人→23人
 工(工/機械システム)…<前>97人→93人、(工/化学・生命)…<前>122人→118人
 (工/環境社会)…<前>73人→57人、<後>10人→5人
 (工/情報・電気・数理データサイエンス)<前>137人→132人
 薬(薬)…<前>28人→27人
 農…<後>10人→9人
 共通テスト：医(保健/看護)<前><後>…国+歴公+数2+理2+外 ※理：生+(物 or 化)
 →国+歴公+数2+理2+外 ※理：物 or 化 or 生→2
 個別試験：教育(養護教諭養成)<前>…論→論+ペーパーインタビュー(面に代わる筆記試験)
 配点変更：医(医)…<共テ>国<200>+歴公<100>+数2<200>+理2<200>+外<200>=総点<900>
 →国<100>+歴公<100>+数2<100>+理2<100>+外<100>=総点<500>
 …<個>数<400>+理2<400>+外<400>=総点<1,200>
 →数<400>+理2<300>+外<400>=総点<1,100>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は161人(95)のやや減少。後期は前年度大幅増加の反動で、341人(80)の大幅減少、学部別では文(118)のみ大幅増加で、これ以外の学部はいずれも減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数92)が減少したこともあって、後期全体の志願倍率は8.8倍→7.7倍のダウンに留まった。なお、法夜、経済夜を除いても、前期は171人(95)のやや減少、後期は317人(80)の大幅減少。

<前期日程>

- 文(97)は、やや減少で2年連続減少。
- 法(97)は、系統への人気は高いがやや減少で4年連続減少。志願者数は300人を下回った。
- 経済(75)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 教育(74)は、前年度増加の反動で大幅減少。課程・コース・教科別では、(養護教諭養成)(184)のみ前年度大幅減少の反動で大幅増加。他の課程・コース・教科はいずれも大幅減少で、特に(学校教育教員養成/中学校教育(文系))(43)は半減以下の

大幅減少で、志願者数は募集人員を1人上回ったのみで、志願倍率は2.5倍→1.1倍にダウン。

- 理(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(生物)(138)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(地球科学)(120)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(物理)(90)は減少で5学科中唯一の減少。
- 工(87)は、前年度旧工と旧環境理工が統合され、旧2学部合計との比較では大幅増加したが、反動から減少。系別では、いずれも減少で、(工/環境・社会基盤)(83)は募集人員(前年度募集人員対比指数78)の減少もあり大幅減少、(工/化学・生命)(86)、(工/情報・電気・数理データサイエンス)(87)、(工/機械システム)(89)はいずれも減少。
- 医(医)(150)は、共通テスト：個別試験の配点比が900:1200→500:1100とより個別試験重視に変更されたことで、共通テスト失敗組に狙われて大幅増加。志願者数も500人を上回り、志願倍率も3.7倍→5.5倍にアップ。
- 医(保健)(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅増加。専攻別では、(保健/看護)(119)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(保健/放射線技術科学)(56)は前年度激増の反動で大幅減少、(保健/検査技術科学)(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 歯(135)は、3年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率は2.2倍→2.9倍にアップ。
- 薬(90)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、(創薬科学)(100)は前年度と同人数だが、(薬)(83)は大幅減少。
- 農(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。

<後期日程>

- 文(118)は、大幅増加で2年連続増加。志願倍率は6.9倍→8.7倍にアップ。
- 法(80)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
- 経済(69)は、前年度倍以上の激増の反動で大幅減少。
- 理(91)は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、(数学)(156)は前年度60%以上の激減の反動で大幅増加、(地球科学)(130)は2年連続大幅増加。一方で、(物理)(53)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(化学)(63)は大幅減少で3年連続原書、(生物)(88)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 工(56)は、前年度旧工と旧環境理工が統合され、旧2学部合計との比較ではやや増加だったが、2年目の今年度は大幅減少。系別では、いずれも大幅減少で、(工/環境・社会基盤)(46)、(工/機械システム)(50)は半減以下、(工/化学・生命)(59)、(工/情報・電気・数理データサイエンス)(67)も30%以上の大幅減少。
- 医(保健)(89)は、前年度大幅増加の反動で減少。専攻別では、(保健/看護)(115)は大幅増加で2年連続増加。志願倍率も8.8倍→10.2倍にアップ。一方で、(保健/放射線技術科学)(49)は前年度大幅増加の反動で半減以下。
- 歯(78)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 薬(97)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(薬)(109)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(創薬科学)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少と対照的。
- 農(78)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。